



日本全国から“こども記者”が大集合！

北海道から沖縄まで

全国の「こども新聞」「こども向け紙面」を持つ18紙が集合！

第5回「こども新聞サミット」をリモートで開催

日時:2022年3月25日(金)15:00~18:00

メイン会場:日本科学未来館(東京都江東区青海2-3-6)7F

YouTube Liveでも限定公開しています。お問い合わせください

こども新聞サミット実行委員会(幹事社:朝日学生新聞社・毎日新聞社・読売新聞社)は、2022年3月25日(金)に「こども新聞サミット」を開催します。全国18の新聞社を代表する27人の“こども記者”が一堂に会し、SDGs「よりよい世界をつくるためには」をテーマに意見をまとめます。

現在、日本には世界では類を見ない、約60もの「こども新聞」が存在します。こども新聞サミットは2017年から開催され、全国各地から集まった子どもたちが、自分たちの未来について取材し、議論し、発表してきました。

第5回こども新聞サミットでは、参加新聞社18社(表参照)がテーマごとに3つのチームに分かれ、リモートで分科会を行ってきました。当日はこれまで取材し、議論してきたことを発表いたします。サミットの最後には「より良い世界をつくるため」の提言をまとめ、世の中へ発信します。

朝日・毎日・読売を含む18紙がタッグを組み実施する共同イベントです。ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上、ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

参加新聞社18紙

	エリア	社名	媒体名
1	北海道	北海道新聞社	道新こども新聞 週刊まなぶん
2	東北	宮城県 河北新報社	こども新聞 週刊かほビヨンプレス
3		福島県 福島民友新聞社	みんゆうジュニア情報局
4	関東	茨城県 茨城新聞社	週刊いばらきこども新聞
5		群馬県 上毛新聞社	子ども新聞 週刊風っ子
6	関東	栃木県 下野新聞社	週刊しもつけ子どもタイムズ
7		朝日学生新聞社	朝日小学生新聞
8		東京都 毎日新聞社	毎日小学生新聞
9		読売新聞社	読売KODOMO新聞

	エリア	社名	媒体名
10	中部	新潟県 新潟日報社	まいにちふむふむ
11		長野県 信濃毎日新聞社	信毎こども新聞
12	近畿	兵庫県 神戸新聞社	週刊まなびー
13	中国	岡山県 山陽新聞社	こども新聞 さん太タイムズ
14	四国	愛媛県 愛媛新聞社	ジュニアえひめ新聞 スマイル!ピント
15	九州	福岡県 西日本新聞社	親子で読むこどもタイムズ
16		鹿児島県 南日本新聞社	南日本こども新聞オセモコ
17	沖縄	沖縄タイムス社	こども新聞 ワラビー
18		琉球新報社	新報小中学生新聞 りゅうPON!

本件に関するお問い合わせ先:「こども新聞サミット」事務局

担当:勇内(ゆううち) 金丸(朝日学生新聞社 事業チーム)

TEL(03)3545-5226 FAX(03)3545-0978 mail:home@asagaku.co.jp

第5回「こども新聞サミット」開催概要

- ・開催日 2022年3月25日(金)
- ・配信会場 日本科学未来館7F (東京都江東区青海2-3-6)
- ・参加こども記者 27名(小学5、6年生)
- ・主催 こども新聞サミット実行委員会
- ・後援 文部科学省、内閣府、日本新聞協会、共同通信社、時事通信社
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
- ・協力 日本科学未来館
- ・協賛 ロボット科学教育 Crefus、浜学園

スケジュール

15:00～ オープニング

- ・司会より開会挨拶
- ・参加新聞社紹介(18社)
- ・協賛社紹介(2社)
- ・ゲスト紹介(日本新聞協会 関口修二さん、NHK 佐藤正和さん)
- ・「サミットの流れ／議論するテーマ」紹介

15:15～ 「SDGs勉強会」実施報告

- ・司会より「SDGs勉強会」の報告(VTR、写真など)
- ・「みんなでつくろうSDGsかるた」優秀作品紹介
- ・スペシャルゲスト ミドリーズ登場 「ツバメ」LIVE (3'42")

15:30～ 個別テーマ発表

- ・チームA「多様性と共生について考えよう」
- ・チームB「不平等をなくすためには
どうしたらいいか考えよう」
- ・チームC「かけがえのない私たちの
地球環境について考えよう」

16:45～ インターバル

16:55～ 全体討議

- ・全体討議～最終提言まとめ
- ・提言を全員で宣誓

17:40～ みんなで「ツバメ」ダンス

- ・ミドリーズ再登場 「ツバメ」振付レッスン
- ・全員で「ツバメ」を踊る(3'42")
- ・ZOOM記念撮影

17:52～ フィナーレ

- ・主催者挨拶(読売新聞グループ本社 中川賢)
- ・司会より挨拶、終了

第5回「こども新聞サミット」で参加新聞社18社のこども記者27名が 発表するのは下記の3テーマ

チームA「多様性と共生について考えよう」

チームリーダー：毎日新聞社 木村葉子

参加新聞社：河北新報社、上毛新聞社、茨城新聞社、新潟日報社、
信濃毎日新聞社、琉球新報社

発表内容：こども記者が取材した多様性と共生について報告します。

- ・毎) 点字新聞勉強会
- ・河) 住み続けられるまちをつくるには 東日本大震災の教訓を生かす
- ・茨) 耳で聴かない音楽－耳の間こえない人との共生
- ・上) 農福連携 障害者が養蚕、農産物収穫を行う「とみおか繭工房」
- ・新) パラアスリートと、女子のスラックス制服について
- ・信毎) 多様性と共生 各社の取材の成果とSDG s を関連付けて発表
- ・琉) 人も動物も共に生きる社会に

チームB「不平等をなくすためにはどうしたらいいか考えよう」

チームリーダー：読売新聞社 安藤康子

参加新聞社：北海道新聞社、茨城新聞社、下野新聞社、神戸新聞社、
南日本新聞社、沖縄タイムス社

発表内容：こどもたちが取材した不平等をなくすためにはどうしたらいいかを発表。

- ・読) 不平等をなくすために自分たちができること
- ・北) 公立夜間中学校
- ・茨) 不平等をなくそう
- ・下) 宇都宮市のNPO法人「フードバンクうつのみや」の取り組みを紹介
- ・神) 不平等とは何か、なくすためにはどうしたらよいか
- ・南) 制服や上履きのリユース活動について

チームC「かけがえのない私たちの地球環境について考えよう」

チームリーダー：朝日学生新聞社 富貴大輔

参加新聞社：福島民友新聞社、茨城新聞社、山陽新聞社、愛媛新聞社、西日本新聞社

発表内容：地球環境を守るため、私たち自身のため、むだづかいをやめようをテーマにこども記者たちの取材したことを発表します。

<FAXまたはメールでご返信ください>

日本全国から“こども記者”が大集合！

北海道から沖縄まで
全国の「こども新聞」「こども向け紙面」を持つ18紙が集合！
第5回「こども新聞サミット」をリモートで開催

日時:2022年3月25日(金)15:00~18:00

メイン会場:日本科学未来館(東京都江東区青海2-3-6)7F

YouTube Liveでも限定公開しています。お問い合わせください

※お手数ですが、3月25日(金)12:00までに、本状にご記入の上、ご返信いただきますようお願い申し上げます。

※ご取材の予定をご記入ください

日本科学未来館を取材

YouTube Liveの視聴を希望

御社名(媒体名)

御芳名

(計 名)

撮影の有無

あり(スチール・ムービー)

なし

TEL

FAX

会場アクセス

日本科学未来館
東京都江東区青海2-3-6

新都市交通ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル駅」
下車徒歩約5分、「テレコムセンター駅」下車徒歩約4分



本件に関するお問い合わせ先:「こども新聞サミット」事務局

担当:勇内(ゆううち) 金丸 (朝日学生新聞社 事業チーム)

TEL(03)3545-5226 FAX(03)3545-0978 mail:home@asagaku.co.jp